

第 1 回 寺子屋ワークショップ

2020 年 12 月 2 日 開催

前年度に引きつづき、アーキテクトという仕事を考える場として寺子屋ワークショップを企画した。コミュニティ参加企業から 5 名の参加者を迎え、12 月 2 日に実施した初回のワークショップの内容を以下に紹介する。

1. オリエンテーション

寺子屋ワークショップ分科会リーダー佐原さん（サブリーダー小山田さん）から、寺子屋の目的とワークショップの予定の説明を行い、参加メンバー、チュータ役それぞれの自己紹介を行った。

<目的>

- IT アーキテクトという職種を理解し、キャリアパスの選択肢として考える機会を与える
- IT アーキテクトというキャリア形成に必要な経験、スキルを知る
- IT アーキテクトの人的交流の輪を広げる

<コンセプト>

- IT アーキテクトとは何かは敢えて示さない。
- 本ワークショップを通じて「各自のアーキテクト像」を作り上げてもらう。

<シラバス>

- 形式
1 グループ 4～5 名に対し本コミュニティのメンバーからなるチュータ 2 名程度によるワークショップ形式
- 期間・実施回数
2020 年 11 月～2021 年 2 月の期間において月 1 回の計 4 回
- 場所
ZOOM（JISA 発行）
- 今後の予定
第 2 日目：2020/12/22（火）（イチオシアーキテクチャ）
第 3 日目：2021/01/20（水）（アーキテクトノヤクメ）
第 4 日目：2021/02/16（火）（メザスガタ）

<参加メンバー>

- 笠井康裕さん（東芝デジタルソリューションズ） 11 年目 翻訳ソフト、音声 AI、ベトナム駐在 1 年
- 尾崎恭平さん（東芝デジタルソリューションズ） 5 年目 並列分散処理に関わる
- 渡邊紘岐さん（シーエーシー） 8 年目 パッケージ開発、アジャイル開発で PO 担当
- 薄田百合さん（シーエーシー） 3 年目 DevOps プロジェクトで開発の勉強中
- 柴崎峻吾さん（さくら情報システム） 1 年目 新規サービス、PoC の開発に参加

2. オシゴト紹介

チュータ役の 2 名が、自身のアーキテクトとしての経験紹介を行った。その中で、過去に携わったプロジェクトでの役割や現在従事している業務を紹介し、受講者からの質問に応えた。

「ハイパフォーマーのキャリアストーリー」

リコーITソリューションズ（株） 小山田 章彦

自身が意識して磨いてきたスキルとして、コンサルティング、コミュニケーション、Web 開発 SOA、オブジェクト指向を掲げ、それらをキャリアの年表の中でどのような現場で実践し、そのときのモチベーションとあわせて解説。あわせて、戸惑ったこと、面白く感じたこと、印象的な言葉（下記）などの話があった。

- ・蕎麦屋の出前になるな！
- ・嫌いな人ほど良い取引ができる
- ・「やりたくないな～」と思うことはやらなければならないこと

所感

- 所属する企業、組織の業務領域の特性に向き合い、キャリアを築いてきた点に、常日頃からのキャリア（なりたい姿）への思いの重要性を感じた。

「お仕事紹介」

（株）シーネット 深澤 徹也

顧客要望に真摯に向き合うことが IT アーキテクトの仕事であり、プロジェクト成功への道でもあることを自信の経験を踏まえて説明。実際の要件定義のアウトプット資料を投影しながら、要望を実現するためにどういった点に気を付けながら社内メンバーとのコミュニケーションを図っているかを紹介。

要件定義を模した「私にカレーを作るための計画策定ゲーム」を通じて、顧客の置かれている状況や要望に耳を傾ける大切さを伝え、参加者の課題意識を高める取り組みを行った。

所感

- カレーを作るための計画という問いかけから始まった印象的な話。参加者みなが前提条件や事前確認の重要性を感じた。
- 所属する会社それぞれで、自身の関心ごとへの意識の高さ、強さが印象的であった。

3. 次回課題説明

今回は、参加者自身が経験した、もしくは考えた/調べたアーキテクチャーを紹介する。次回までに、そのための発表資料まとめをする。まとめるポイントとして、なぜこのアーキテクチャーが気に入ったか？、もしくは気に入らなかったか？という見解を入れる。

次回開催予定 2020/12/22（火） 17:00~19:00